



## 『ひろせホーム』への期待

春寒が続き、桜のつぼみがまだ固い中で、原稿を書いております。この拙い文が皆様の目に触れる頃は、暖かで陽光あふれる季節が到来していることと思います。また、ひろせホームは、新たに『小規模住居型児童養育事業（いわゆる「ファミリーホーム」）』に変わっておられることと存じます。

子どもの発達過程において、乳幼児期の愛着関係の形成は極めて重要であり、家庭的な環境の中で養育されることが望ましいと言われていています。特に、虐待等の問題があり、家庭での養育を十分に受けられなかった子どもを、暖かい愛情と正しい理解をもった家庭の中で養育する里親制度は、極めて有意義な制度です。このほど、国では、里親委託を推進し家庭的養護を拡充するため、養育里親を養子縁組里親と区別することや「ファミリーホーム」創設等を盛り込んだ児童福祉法の改正を行いました。この動きは、里親制度に寄せる期待の大きさでもありますが、関係者の皆様方の努力の結実であると思っております。



## 6年目を迎えたホーム

児童福祉法が改正された中で、子どもたちにとって普通を味わう環境になりうるだろうかと思ひながら、ホームはいつもと変わらぬ毎日を淡々と送っている。

ホームの最年長児は大人顔負けの会話をしてくる。ああ言えばこう言うが、それでも時々軌道を外れた反論に、これってどこから学ぶのかと・・・。

それぞれの子どもたちを取り巻く環境の多様さを感じてしまう今日この頃・・・。  
多人数養育は、手のかかる子がいたり、手のかからない子がいたり、大人を労わる子がいたり、反撃する子がいたり、と。個性豊かな個人養育に翻弄されている夫を尻目に、ただひたすら子どもたちの生命の力に感動の日々を送っております。

ひろせホーム代表 廣瀬 タカ子

## 縁の下の力持ち

ひろせホームの補助員としてホームに入ってから、もうすぐ1年が経とうとしています。ホームでお世話になる以前は、児童養護施設で子どもたちと生活してきた5年間の経験がありました。

家庭の複雑な事情を抱えて、親と離れて暮しているという子どもたちの状況は同じですが、その受け皿となる場所として「施設」しか知らなかった私は『廣瀬さん』というひとつの“家庭”の中で暮らす子どもたちの生活を垣間見、自分がそこに関わったことを今とても感謝しています。しかし一方で、その生活スタイルや考え方の違いに始めは戸惑うばかりで、まるで借りてきた猫のようになっていた自分のことを、もどかしく思っていました。

中でも、ひろせホーム代表の廣瀬タカ子さん。私が述べるまでもなく、千葉県内のベテラン里親のひとりであり、千葉県里親型ファミリーグループホーム第1号としてひろせホームを運営され、この制度の先駆けとして活躍されてこられました。

さらには、その行動力を遺憾なく発揮され、「里親ファミリーホーム全国連絡会」の初代会長になられ、機会あるごとに、虐待等によって家庭生活を奪われた子どもたちに、普通の当たり前の家庭生活を体験させることの重要性を訴えてこられました。その成果が、このたびの「ファミリーホーム」制度創設だと思えます。

県では、引き続き、里親制度を充実すべく、努力を重ねてまいります。同時に、家庭を前提とした小集団の子どもたちが、子ども同士の関わりの中で、互いを育てていく「ファミリーホーム」にも大いに期待しております。ひろせホームには、再度、県内の制度の牽引役を務めていただきたく、存じます。

あらゆる会議や研修の場に、委託されているお子さん全員を連れて参加いただき、迫力ある低音の魅力を遺憾なく発揮される「お母さん」、その活動や子どもたちを支える良きパートナーの「お父さん」というひろせホーム。

今後とも、ひろせホームを必要とする子どもたちが多くおります。引き続きのご活躍と御協力を、よろしくお願いいたします。

千葉県児童家庭課 室長 鈴木 富美子



「我が家の教訓」  
大切にするべきは、命。親から授けられた命。自分だけの命。大切に育ててあげたい。自分だけの命。大切に育ててあげたい。自分だけの命。大切に育ててあげたい。

補助員として一番の葛藤は、周りに同じ立場である人がいないことです。自分が補助員としてのあり方に立ち止まった時、疑問や葛藤が出た時、同じ立場として刺激し合ったり、共感してもらえるような横の繋がりが持てたら、今よりきっと心強いだろうと思います。

しかし、それ以上に、廣瀬さん御夫婦から学び得るものが多く、そして何よりホームで暮らす子どもたちの成長を垣間見られる喜びが、私にとってこのお仕事が一番の醍醐味です。

まだまだ知識も経験も足りない私ですが、自分なりに廣瀬さん御夫婦の力になればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

ホームスタッフ 万崎 美奈

# ホームのみんなの1年間

## 4月

ホーム全員がウイルス感染で病院に  
県庁訪問、中央児童相談所訪問  
幼稚園入園式  
  
Aちゃん、こども会のイチゴ狩りに  
  
小学校参観日

## 5月

大阪から（里父母の）娘家族が来所  
こどもの日！ホーム全員で竹の子掘り  
厚労省にファミリーホーム要望書提出  
ホーム全員で、北海道の葬儀に参加  
幼稚園にて保育参観日  
県・里親総会とFHの第1回研修会

## 6月

Kちゃんを静岡の実母のもとへ  
Tくん、病院にて定期健診  
小学校の校外学習  
全国FH実行委員会を都内で開催  
幼稚園プール開き、RS君の誕生日

## 7月

補助スタッフ（万崎さん）の初日（7/1）  
自宅（ひろせホーム）のリフォーム  
Mちゃん、年長組のお泊り保育に参加  
Tくん、Aちゃんの小学校個人面談  
Mちゃん、Hちゃんの幼稚園個人面談



君津市社会福祉協議会様、三冷設備様、  
吉原工務店様、茂田医院様、  
水鳥川様、竹下様、高橋様、奥野様、  
在原様、並木様、長嶋様（児相関係）  
長谷川様（聖愛乳児園）  
川村様（朝日新聞社）、  
小林幸男様、降旗様、篠崎様、  
橋本様（君津市議）、田中様（広島市議）  
ひろせホーム親戚有志様、樋田様、半沢様、  
周西幼稚園様、大和田小学校今西様  
伊藤様（君津市保健師）、FH事務局若狭様、  
稲垣様、兼高かおる様、半田様、小林様、  
古川様、市原様、安部様、高安様、柴田様、  
石田様、小高様（順不同）  
あたたかい心遣いをたくさんいただき  
ありがとうございました。

## 8月

Tくんのお見舞いに兄のJくんが来る  
Mちゃん姉妹、実親家庭に帰省  
2歳のRくん、単語を話すようになる  
里親ファミリーホーム全国連絡研究協議会開  
催について子達の体調状況が悪く  
会長として出席を断念

## 9月

NHKのディレクターが来所  
Rくん、RSくん予防接種に  
幼稚園防災訓練、小学校宿泊学習  
里親会君津支部ぶどう狩りに参加

## 10月

小学校一日授業参観  
全国里親大会（静岡県）に参加  
Mちゃん小学校入学前健康診断  
里親月間、駅前PR活動を君津支部で実施  
Hちゃん幼稚園の遠足に参加

## 11月

Tくん、実母と兄弟とともに外出  
ホームの子どもたち4人で予防接種  
聖愛乳児園のスタッフ2名が来所  
小学校郊外学習、幼稚園マラソン大会

## 12月

Mちゃん、Hちゃん幼稚園で発表会  
お父さんとお母さん、CT定期検査  
Mちゃん姉妹、実親のもとに帰省  
ホームの餅つき大会

## 1月

ホームの元旦、元里子家族来所  
Tくん、Jくんの家族が一泊で来所  
Mちゃん、一時保護委託で入所（君津児相）  
1月生まれの3人の子どもたちの誕生会  
TMくん、一時保護委託で入所（市川児相）

## 2月

里親会君津支部の新年会に参加  
節分、ホームのみんなで豆まき  
幼稚園年長組、お別れ遠足  
お母さん、千児協研修会（成田）に参加  
県・里親大会に参加



## 3月

Rくん、面会を実施  
ホームの子たちが次々に発熱  
幼稚園の卒園式、Mちゃん  
TRくん、寝返りを始め離乳食も開始  
「望みの門方舟乳児院」開所式に参加



## 家族の紹介



お父さん… ひげ爺さんが、こどもたちのために  
小物作りのミシンを始めた。結構楽しそう♪  
お母さん… 赤ちゃんの可愛さの魅力から離れられない。  
出会いと別れにいつも苦しみ続けている。  
Tくん… 持病の調子もかなり改善に向かっていようだ。  
家庭復帰もまもなくかな？  
Aちゃん… いつもの頑張り屋に少し陰りが見え始め  
本人も苦しんでいるかな？  
Mちゃん… 喋り出したら止まらない一年生、何でも良く出来る。  
でも、自分のことはスロー、明るくていいけどね♪  
Hちゃん… 幼稚園の年長さんになったら俄然お姉さま振りを発揮！  
なんとも可愛らしい年長さん。  
RSくん… 言葉も出始めなんとか自分の意思を伝えようと  
努力をしている3歳児  
Rくん… 新しい家族のもとへ行く日も決まり、  
何となく察しているのかチョッピリ荒れ気味。  
TMくん… よく笑うニコニコ屋さん。ヘルニアの手術も控えているが、  
高熱に見舞われて見送られてしまった。  
スタッフさん… ご結婚おめでとでチョットお休み中だけど、  
家庭に一段落が付いたら復帰の予定。待ってまーす。



2009年・ファミリーホーム元年  
ひろせホーム・バイオニア・礎。  
千葉の躍動を全国に！！



千葉県・千葉大会  
2010